



**特定非営利活動法人**  
**ニッポン・アクティブライフ・クラブ**  
 事務局:大阪府中央区常盤町2-1-8 FGビル大阪 〒540-0028  
 電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-5130  
 ホームページ <http://nalc.jp> **毎月1回 10日発行**  
 Eメール編集室...[kaiho@nalc.jp](mailto:kaiho@nalc.jp)

# 2019年度事業計画(案)

## ナルク25年 新たな時代へ

来年度の事業計画案が策定された。人生100年時代を見据えて、新たな時代に突入したことを認識し、ナルクの理念を順守しつつ、自立活動・奉仕活動・助け合い活動で生きがいを見つつけ、「楽しいナルク」「安心のナルク」「感動のナルク」を目指そうと神野会長は訴えている。なお、本案は5月の理事会、総会を経て最終決定される。

### 重要推進項目

(1)ナルクの永続的な発展を目指し、中期計画の着実な実行を図るために全拠点会員の総力を結集しよう

昨年、「ナルク25年 新たな時代へ」のスローガンを掲げ、ビジョン委員会を立ち上げ、「人」「物」「金」「制度」の4つの切り口から次の項目を検討してきた。①会員を増やそう②時間預託制度の見直し③組織運営の健全化④地域と共に⑤情報の発信。

これらは「25周年記念総会」で正式発表されることになる。

(2)今こそNPO法人の原点である「地域社会への貢献活動」の積極的な展開を

ナルクは25年前、大阪市内の「エルおおさか」で設立総会を開いた。ナルク創設の原点である社会貢献活動を積極的に推進することが今こそ求められている。

NPO法人の法人たるゆえんは、地域に対しての社会貢献活動の実践である。地域の環境美化活動、子育て支援活動、福祉施設への支援活動などを積極的に実践し、実践したい。

「超高齢化社会への課題」「介護保険の改正への対応」に対して、ナルク設立の原点である「自立・奉仕・助け合い」の理念をしっかりと確認し、実践したい。

まず第一に、本年は25周年の記念すべき年であり、全拠点で地域社会への貢献のための行動を展開しよう。具体案はビジョン委員会の提言を受けて提案する。

地域貢献活動の二つ目は、日本は世界一の長寿国になり、

「超高齢化社会への課題」「介護保険の改正への対応」に対して、ナルク設立の原点である「自立・奉仕・助け合い」の理念をしっかりと確認し、実践したい。

「超高齢化社会への課題」「介護保険の改正への対応」に対して、ナルク設立の原点である「自立・奉仕・助け合い」の理念をしっかりと確認し、実践したい。

「超高齢化社会への課題」「介護保険の改正への対応」に対して、ナルク設立の原点である「自立・奉仕・助け合い」の理念をしっかりと確認し、実践したい。

「超高齢化社会への課題」「介護保険の改正への対応」に対して、ナルク設立の原点である「自立・奉仕・助け合い」の理念をしっかりと確認し、実践したい。



大阪長居公園の桜がほころぶ 写真 岩井 惇

今般の介護保険の改正で要支援ⅠⅡの人たちは全国一律給付の対象外となり、市町村の介護予防・日常生活地域支援総合事業に移行し、その支援をボランティア団体、NPOなどが担うことになったが、全国的にはその実践が見えてきていない。しかし、今後展開を見据え、そのためにナルクとして活動会員の増強が急務である。新入会員、今まで活動に参加されていない会員に対し「日常生活支援活動テキスト」を活用して研修会を継続的に実施し、支援を必要とする会員及び市民に対応することが重要である。

(3)それぞれの拠点が「エリア17推進」を指し、エリア17推進会議」での課題解決のための実践行動を

拠点を一層の発展を目標として、地域プロジェクト(エリア)制を設け、各エリアにエリア担当理事を配置し、エリア内での拠点活動の活性化と連携を強める意図で「エリア17推進」を

実践し、担当理事を中心に「エリア17推進会議」を積極的に展開してきた。エリア会議では主として「会員増強」「魅力ある活動」な

どを論議してきたが課題も明確になり、3年目の本年は実践・実行の年としたい。

(4)日常生活支援・介護力を強めよう

会員同士の助け合い活動をしたくても、拠点に経験者がいない、もしくは少ないのが現状である。そのために「シニア生活・介護支援サポーターテキスト」と「日常生活支援活動テキスト」を使って、全拠点が介護の心得や、介助のスキルを身につけるための会員対象の研修会を開催する必要

がある。また将来、介護労働力の不足を予測すると、介護・介助支援のボランティアを要請される時代が今そこに来ている。それに備えることが重要である。

ナルクは行政との関係を緊密にし、介護の無償ボランティア団体として地域に貢献してきた。

会員の多くが高い志を持って日常の活動に励んでいる。そんなナルクの素晴らしさをより実践する年にしていきたい。

「ナルクの基本」とりわけ「助け合い活動」「地域貢献活動」について、基本



エルおおさか全景 ナルクはここで産声をあげた

に徹することを目標し、活動を展開してきているが、まだまだ充分徹底できていない拠点があることも事実である。従って本年度も引き続きエリア単位および拠点単位に「研修」を実施していただき更なる徹底を図る必要がある。

「エリア17推進」は3年目を迎え、成果を上げる年にしたい。今一度「エリア17推進」の原点を理

解し、左記の項目についてエリア担当理事を中心にエリア全体、個々の拠点の活動の積極展開を目指す。ここで再度「エリア17推進」の確認をしたい。

エリア17の実践項目

①拠点の活性化 エリア内で活性化している拠点のノウハウを全拠点が共有化し、拠点間でのキ

ャッチボールにより、全拠点が活動の活性化に向けて邁進する。

②事業計画の推進 ・新入会員研修を毎月実施する。例え月に一人でも実施し、

託活動の推進・地域総合事業への対応な

り、活動の推進・地域総合事業への対応な

り、活動の推進・地域総合事業への対応な

り、活動の推進・地域総合事業への対応な





びわこ湖西拠点の地域社会貢献活動「にじのひろば」

ばならない。そのた  
めにはNPO法人に  
対しての助成金制度  
に對しての申請も視  
野に入れてほしい。  
拠点は予算管理を  
徹底し経費削減に努  
めるとともに、会員  
増強、活動強化に務  
め、財政基盤の強化  
を図っていただき赤  
字拠点のゼロ化を図  
る。要は「入るをは  
かり、出するを制す」  
に尽きる。

**(5)総合事業への積極  
的な取り組み**  
「介護予防・日常  
生活支援総合事業」  
は、昨年度から本格  
的に展開されている。  
ナルクがこの総合事  
業に参加、対応する  
方策は、2015年  
5月29日の通達で拠  
点に周知している。  
拠点はこの通達に  
示した3つのメニ  
ーから、地元状況、  
触を密にして、情報

の把握を心掛ける  
と共に、拠点全体とし  
ての情報共有する  
ことも必要である。  
**(6)地域の社会貢献活  
動として子育て支  
援活動の積極実施**  
ナルクは介護保険  
制度の導入以降、三  
世代子育て支援で少  
子化対策を積極的  
に展開してきた。「親  
子集いの広場」「野  
外冒険広場」「自然  
観察」「登下校時安  
全見守り」「学童保  
育の支援」「母子家  
庭・共働き家庭の子  
供の預かり」「おも  
ちゃの病院」など、  
さまざまな子育て支  
援活動で地域社会に  
貢献している。今後  
も継続して拠点の特  
徴を生かし、積極的  
に展開いただきたい。

**(7)見廻りたい・ナル  
ク後見活動の推進**  
「顔の見える組織」  
は、「見廻りたい」  
などの形でほとん  
どの拠点で実施され  
ている。「見廻りたい」  
の延長としての「ナ  
ルク後見人活動」を  
広げるため、各地  
で研修会を進めてき  
た。  
設立間もないころ  
ボランティア活動を  
していた会員も75  
歳を超える年齢に  
なり、支えられる側  
になったり、一人暮  
らしで身寄りもなく  
なり、「人生の終末  
までをナルクにお願

いします」という人  
も出てきている。そ  
のため、身寄りのな  
い独居高齢者の市民  
後見の相談窓口とし  
て、しっかりと対応す  
ることが重要であ  
る。その一つが現在  
関東地区と関西地区  
で積極的に進めてい  
る「ナルク後見人活  
動」である。行政  
および社協も積極  
的に対応しつつあり、  
連携を進めることが  
重要である。ナルク  
後見人活動を行うた  
め、行政などが実施  
する後見人養成研修  
会に参加するととも  
に、拠点においても  
研修会を開催し、「安  
心のナルク」の実現  
を目指していただ  
きたい。

**(8)拠点内でのプロ  
クの推進**  
「声掛け」「誘  
い」で拠点組織を  
「顔の見える組織」  
にするため、拠点内  
のプロク制を推奨  
してきたが、自立活  
動、サロン活動にお  
いても、プロク別  
に実施することによ  
り、会員がより親し  
くなり、会員以外の  
人も参加できる「楽  
しいナルク」が実現  
し、会員増にも結び  
つけられるのではな  
かるか。  
**(9)事業活動の展開**  
ナルクのように継  
続して活動するボラ  
ンティア団体は、組  
織を維持管理してい

くための経費を相当  
額確保しなければな  
らない。ナルクはこ  
の基本的な財源を  
活動会員の年会  
費、賛助会員の賛助  
費、寄付金に依存  
している。それでも  
不足する部分は収益  
事業に依存してい  
るが実情である。  
現在実施中の主な  
収益事業は、福祉調  
査センター活動、工  
ンディングノートや  
介護サポーターテキ  
ストなど、ナルクで  
制作した書籍の販売  
活動、事業化してい  
る介護施設への支援  
活動、さらに地元自  
治体で実施する総合  
事業への参画による  
日常生活支援の活動  
など、本部や拠点が  
自らの活動の中で取  
り組んでいるものが  
ある。これらの活動  
は、今日では団体を  
円滑に維持管理する  
うえで欠かせない活  
動の一つとなってい  
る。

この事業の目的  
は、グループホーム  
や特別養護老人ホ  
ム、児童養護施設、  
保育園などに入所さ  
れたり、通われたり  
している人たちの受  
けるべきサービスが  
質的に確保され、尊  
厳ある生活が享受さ  
れていることをその  
事業所の外部(第三  
者)の評価調査員が  
調査をし、結果を自  
治体の決められたル  
ールに従って公表す  
ることであり、各セ  
ンターはこの調査活  
動に取り組んでいる。  
この活動によって福  
祉調査センターはナ  
ルク本体への財政的  
支援にも寄与してい  
る。

近年、この調査活  
動においてもナルク  
本体同様、評価調査  
員の高齢化が問題  
で、各センターとも  
評価調査員の若返り  
対策に苦慮してい  
る。また、この活動  
は事業所からの調査  
業務の受注が第一で  
あり、そのための営  
業活動に力を注いで  
いる。  
したがって、評価  
調査技術の確保と向  
上、調査費の同業他  
社との競争も時とし  
て必要となる。  
このような実態を  
踏まえつつ、各セ  
ンターでは地域にお  
ける行政の意向、事  
業者の実情を把握し、  
自らの課題をクリ

アしつつ弱い点を補  
強しながら、今年度  
も前年度の実績を上  
回ることを目標とし  
て、各センター代表  
を筆頭に調査員並び  
に事務スタッフ総員  
300人のメンバー  
が心を新たに、活動  
を推進する。  
**(2)日常生活支援  
活動**  
平成26年の介護保  
険法改正により設け  
られた総合事業と呼  
ばれているもので、  
従来から介護保険事  
業者が実施している  
介護介助業務のなか  
で、「要支援Ⅰ、Ⅱの  
支援適用者のうち、  
身体介護を伴わない  
生活支援のみが必要  
な方々などを対象  
に、地元自治体が実  
施する多様なサービ  
ス事業の一つであ  
る。

ナルクは、この関  
係の事業に積極的に  
参加しようとする度  
から決めており、拠  
点は地元自治体の動  
向に合わせて、自ら  
活動に取り込めると  
判断し、取り組みの  
指定を受けた拠点が  
前年度未現在、サー  
ビスA、サービスB  
は合わせて9拠点あ  
る。

この活動のふたを  
開けてみると、サー  
ビスAの指定を受け  
た拠点は活動件数も  
多く、体制強化も必  
要との傾向にある。  
しかし、サービスB  
の指定を受けている  
拠点は実際はサー  
ビス提供の依頼がご  
く少ない状態にあり  
困惑している。原因  
は仕組みの悪さも影  
響していると思われ  
る。サービスAなら  
利用者負担は介護保  
険制度での一割負担  
が適用され、サービ  
スBはそれが適用さ  
れず、自治体自体の  
財源持ち出しや利用  
者負担が高くなって  
おり、結果として介  
護保険事業者が対応  
する場面が多いので  
はないかと思われる。  
わが国の高齢者の  
人口割合は年々高く  
なっており、今後重  
度な介護支援を必要  
とする人は増加する  
みなので元気を分け  
合いつつ活動してい  
く。

「おらが拠点の熱  
いひと」「つれづ  
れの記」「私の健  
康法」お勧めレシ  
ビは休載します。


この活動のふたを  
開けてみると、サー  
ビスAの指定を受け  
た拠点は活動件数も  
多く、体制強化も必  
要との傾向にある。  
しかし、サービスB  
の指定を受けている  
拠点は実際はサー  
ビス提供の依頼がご  
く少ない状態にあり  
困惑している。原因  
は仕組みの悪さも影  
響していると思われ  
る。サービスAなら  
利用者負担は介護保  
険制度での一割負担  
が適用され、サービ  
スBはそれが適用さ  
れず、自治体自体の  
財源持ち出しや利用  
者負担が高くなって  
おり、結果として介  
護保険事業者が対応  
する場面が多いので  
はないかと思われる。  
わが国の高齢者の  
人口割合は年々高く  
なっており、今後重  
度な介護支援を必要  
とする人は増加する  
みなので元気を分け  
合いつつ活動してい  
く。

**ナルク25年  
新たな時代へ**

**設立25周年をみんなで  
祝いましょう**

日時：2019年5月28日(火)  
10:00～16:30  
場所：ドーンセンター  
大阪市中央区大手前1-3-46  
電話：06-6910-8500

内容：総会  
基調講演  
事例発表  
パフォーマンス・フェスタ  
作品展  
物産展



この活動のふたを  
開けてみると、サー  
ビスAの指定を受け  
た拠点は活動件数も  
多く、体制強化も必  
要との傾向にある。  
しかし、サービスB  
の指定を受けている  
拠点は実際はサー  
ビス提供の依頼がご  
く少ない状態にあり  
困惑している。原因  
は仕組みの悪さも影  
響していると思われ  
る。サービスAなら  
利用者負担は介護保  
険制度での一割負担  
が適用され、サービ  
スBはそれが適用さ  
れず、自治体自体の  
財源持ち出しや利用  
者負担が高くなって  
おり、結果として介  
護保険事業者が対応  
する場面が多いので  
はないかと思われる。  
わが国の高齢者の  
人口割合は年々高く  
なっており、今後重  
度な介護支援を必要  
とする人は増加する  
みなので元気を分け  
合いつつ活動してい  
く。

### 設立25周年記念行事近づく 記念イベントは5月28日 大阪ドーンセンターで開催

「ナルク25年新 作品展、物産展への たな時代へ」。そう 出展には余裕があり ますので、ご希望の 時代と共に、いろ 方は事務局までお問 い合わせください。 定時総会(傍聴可) 10:00~12:00

基調講演 10:00~12:00

事例発表など 12:30~14:00

パフォーマンスフェ 14:00~16:30

作品展(ロビー) 11:00~16:30

物産展(別フロア) 11:00~16:30

乳製品 海産物

わかめ、海苔

納豆 サバ缶

じゃこ天 梅干

焼酎

着物リメイク作品

小物(帽子など)

河内木綿今

治タオルなど

懇親会(別会場)

17:30~19:30

また、ドーンセン

ターの別フロアでは



記念イベントが行われ  
る大阪ドーンセンター  
の全景

### 茨木・摂津拠点の歩み

ナルクの介護テキスト誕生のルーツは

平成7年 茨木摂津拠 点は時間預 託制度を掲 げ、ボラン ティア団体 として15人 で発足しま した。当時 の名称はW ACアクテ イブクラブ 茨木摂津支 部でした。

福祉の知識を持つ た「助け合いのボラ ンティア 団体」と なるため に、勉強 会を重視 してきま した。同 時に活動 内容をマ ニュアル 化し、拠 点の会員 は同じ行 動をとる ことを申 し合わせ ました。



茨木摂津拠点の勉強会風景

さらに、助け合い 活動に加えて地域貢 献活動を重要視し、 一般市民から「支援 の要請」を受けた場 合、会員になってい ただき、要請に応え るという方式を採り ました。

池田」と3拠点で共 同開催した「ボラン ティア養成講座3級 課程(厚労省基準)」 です。この講座はW ACの指導のもと、 「済生会茨木病院」 「高槻赤十字病院」 「大阪府立特別養護 老人ホーム」などが ストなどの協力を得 て開催いたしました。 その時使ったテキスト などをもとめたの

が「ボランティア提 供者の心がけマニ ュアル」というもの でしたが、高畑名誉会 長にお見せしたとこ ろ、ナルクとしての テキストを作るよう に指示がありました。

早速本部内に委員 会が設けられ、専門 家の意見も採り入 れ、現在使われてい る「シニア生活・介 護支援サポーターテ キスト」と「日常生 活支援活動テキスト ト」が完成しました。

茨木・摂津拠点で も、「介護サポータ ーテキスト」を使っ て、平成20年から毎 年研修会を開催し、 修了者は1000人を 越えました。

こうした勉強の成 果があつて、現在は 茨木市から「ごいつ しょサービス(認知 症支援)」「ひとり 暮らし高齢者日常生 活支援」「総合事業 B」の3件を受託す るまでになりました。 10年間、全くク レームがありません。

### 同好会活動の変遷を見る

アウトドア系が減り  
インドア系が伸びる

同好会活動は奉仕 7年には2位だった 活動と並んでナルク 「歩こう会」(同4 の重要な活動で、各 27人)も2012 年の活動資金源に 6位(同35 にもなっているが、会 員の高齢化と共に活 動内容に変化が起き ているようだ。20 13年5月10日発行 「健康」(同2 87人)は2012 年の会報「ナルク」の 記事を参考に、同好 会の活動内容がどの ように変わってきた のか見てみたい。

「全拠点で参加者 た「健康体操」が7 位(同228人)に、 「卓球」が8位(同 10)では、2002 年(参加総数374 5人)の1位はハイ キング(同663人) だった。しかし、2 007年(同604 4人)にはハイキン グ(同251人)はこ 湖西拠点でも見ら 6位、2012年同 8604人)には同 200人)9位に下 がっている。200 195 (195 人)に入 った。20 12年に ランク 外に、同 20 ユニーク な「カヌ ー」同好 会」があ り、多い 時には20 人を超え る。参加 者の多い 200 10」の第5位

「自然観察の会」も 昨年未、継続10年の 幕を閉じた。 「トレッキング・ クラブ」も当初は20 人近い参加者があつ たが、今では3~6 人。参加者ゼロの時 さえある。「フォト & ウォーキング・ク ラブ」も多い時には 10人を超えるほどの 参加者があつたが、 今では4、5人に減 り、やはり参加者ゼ ロの時もある。逆に、 インドア系の「健康 サロン」は会員増が 顕著だ。

健康麻雀は月4 回、公民館で開かれ ているので、ナルク 会員以外の人の参加 も受け入れなければ ならない。現在、1 回の開催に30人以上 の参加があるが、近 いう将来、40人に達す るという勢いだ。参 加者の半数はナルク 会員外だが、その人 たちの中からナルク に入会する人もいる から頼もしい。 フラットサロンは 毎月2回の開催で、毎 回約20人の参加者が あり、ナルク会員外 の人も3人くらいは 好会、ユニークな活 動をしている同好会 などがあり、ご紹介 せよご紹介ください。 全国からの投稿をお 待ちしています。



びわこ湖西拠点の健康麻雀風景

この傾向に対し て、同拠点でフォト & ウォーキング・ク ラブの世話人を務め る藤林道保さんは 「やはり会員の高齢 化が原因だと思っ ています。 私たちが若い世代 の人がナルクに入っ てくれない限り、ま すますこの傾向は続 くことだろう」と危 機感を募らせる。

「同好会の参加者 の多い拠点ベスト10」で見ると、全拠点合 計で2007年は6 044人(1位は東 大阪・大東拠点77 3人)、2012年 は8604人(1位 は伊賀名張拠点46 1人)だった。「同 好会の種類の多い拠 点ベスト10」で見ると、2007年の1 位はかずさ拠点(23 種類)、2012年の 1位はたけがな拠点(31種類)だった。

「そろそろですかね」「食事を出してくれ」「洗濯もしてくれ」「何もないから」「そろそろですかね」 「そろそろですかね」 「そろそろですかね」 「そろそろですかね」 「そろそろですかね」 「そろそろですかね」 「そろそろですかね」 「そろそろですかね」 「そろそろですかね」 「そろそろですかね」



初めてのハンド マッサージ活動  
東大阪・大東拠点  
酒井直子  
昨年11月、初めて 拠点活動を行うお二 人の会員さんをお連 れし、施設にハンド マッサージの活動に 行ってきました。



### 短歌

【ふくい】  
車イス清掃奉仕冬の空ナルクの人等と絆深  
めし 酒井久美子

【函館】  
氷点下20度と流水体感し冬の紋別厳しさを  
想う ななしのこんべえ  
走れども走れども海オホーソクしばし安ら  
ぐクツチャ口湖の森 ななしのこんべえ

### 俳句

【茨木・攝津】  
句いたつ二十歳の乙女梅開く  
曾孫ある母幸せお年玉 新井 田中

【ふくい】  
今本を斜め読みする秋灯火  
面影を偲びてやまぬ秋の夜 松原宗引 仲野弘子

【石川】  
日だまりにひそと咲きたる野菊かな  
大根煮る匂ひの中に安らげる 泉和子 河越敏子  
なほ奥に色を尽して冬紅葉 北川まつ子

### 拠点だより

【大阪南】新 いることはマスコミ  
わくわく町中 が報じている通りで  
散策で大仙公 す。 続いて約10分歩  
園へ き、「日本庭園」に

12月8日午 前10時、「百  
舌鳥駅」に集 行きました。この  
合した11人の参加者 「池泉」の対岸は中  
は堺観光ボランティア 国大陸をなぞらえて  
アの宮尾さんに案内 いるとのこととす。  
され、大仙陵古墳伝 庭内を半周すると中  
仁徳天皇陵)に着き 国に到着です。  
ました。 さらに10分歩くと  
この古墳は全国に 日本第3の規模を誇  
る「履中天皇陵古墳」  
20万もあるという古 後に堺市博物館  
墳の中でも最大級の を訪れました。大型  
物で、「世界最大墳 スクリーンで百舌鳥  
墓」の一つです。そ 古墳群の雄大さを体  
して、「この一帯が「百 感じ、築造当時の古  
舌鳥・古市古墳群」 墳の姿も鑑賞するこ  
として世界文化遺産 とができました。こ  
への登録を目指して

冬晴れの城下を望む黒瓦  
小春日や鶯舞ひ遊ぶ卯辰山  
色尽しきれざるまに枯葉舞ふ  
それぞれに色よき落葉拾ひけり  
大根引き終えてあたまの敵の穴  
日ざし来て紫濃ゆき式部の実  
小春日や麻畔の景を一望す

### 川柳

【ふくい】  
工夫して行き着く料理混ぜご飯  
スッピンという健康な化粧法

### 堺

もだえても新句浮かばぬ今の脳  
記憶なし禁句にすべし答弁者  
新春のごちそう今は一年中  
はずれても大雨降らず喜ばれ  
新元号平和を願う日本の美  
再登場度厚かましい顔並ぶ

【函館】  
初めての大会入賞頼つねる  
【大阪北】  
戦争は昔話と違えます  
終章の未知を楽しむことにする  
ガラス腰硬くて脆い根性も

【大阪南】  
ここでは鉄砲や南蛮船  
の展示が目を引き、  
中世の「自由都市・  
堺」を味わうことが  
できます。  
お昼には、近くの  
食堂で、名物の「古  
墳カレー」を味わい、  
楽しく有意義な一日  
を過ごしました

【茨木・摂津】アン  
チエイジングの会で  
落語も鑑賞  
拠点で2か月に1  
回開催する「アンチ  
エイジングの会」に、  
「加齢黄斑変性症」  
についてのほか、今  
回は落語鑑賞会も催  
し、大いに賑わいま  
した。

この会は、加齢に  
よる身体の衰えを可  
能な限り少なくし、  
楽しみながらいつま  
でも若々しくいられ  
ることを目標にして  
いるものです。  
落語は、会員の廣  
いものですね。

### 随想

#### 再会を思う

【富田林】佐伯淳子  
富田林拠点が発足  
したころ、私がナル  
クに誘い入会した彼  
は、私の幼友達であ  
る。お互いにマーチ  
やん、淳子ちゃん  
と呼び合う仲だった。  
私たちが韓国ソウ  
ウル市で生まれ、敗  
戦時までそこにい  
た。お互いの家は近  
所で、両家とも年齢  
の近い兄弟姉妹が7  
人ずついた。私が彼  
の一つ年上である。  
二人とも毎日のよ  
うに、よく遊んだ。  
狭い路地での隠れん  
坊、小石遊びのコン  
ギ、戦争「うー……」  
家の中では百人一首  
やトランプなどもし  
た。しかし成長し、  
お互いが女学生・中  
学生になると、家同  
士は相変わらず親し  
くしていたが、二人  
の会う機会は少なく  
なっていた。そのう  
ちには敗戦を迎え、両  
家は別れ別れになり、  
消息を知ることがな  
く時は過ぎて行った。  
ところが今から20  
年前、平成10年6月  
に神戸で行われた京  
城南山小学校の同窓  
会で、50数年ぶりに  
再会したのだ。当時、  
私は仙台に、マーチ  
やんは大阪の寝屋川  
にと離れて住んでい  
た。けれど現在は偶  
然にも、同じ富田林  
の同じ町内の住民に  
なり、一緒にナルク

活動をしている。  
私は長年住んだ仙  
台を去り、長女が嫁  
いでいる富田林に行  
くことになった時、  
長女がいるとはい  
え、私たちがとって  
は「未知の土地」と  
寂しく感じたものだ  
だった。しかし私の尊  
敬する日本文学の恩  
師に「石上露子の町  
でしよう、富田林  
は！」と言われたこ  
とを今、改めてあり  
がたく思い出す。  
そして遊び友達だ  
ったマーちゃんとの  
稀有な再会。人の世  
のご縁は誠に奇異な  
ものと思つこの頃だ。  
【寝屋川】黒川典子  
町内会の健康ウオ  
ークで奈良の「山の  
で私たちが天文の世  
でいただきました。  
直径9ミリのドーム  
に収納の「屈折望遠  
鏡」としては、国内3  
番目の望遠鏡(口径  
45センチ)や、幾つも  
の反射鏡を組み合わ  
せ、その動きを追尾  
する「太陽観測望遠  
鏡」、そして、現役  
としては「日本最古  
の18センチ望遠鏡」を見  
学しました。

出来ない自分に笑う  
され、今では賞を頂  
くほどまでになられ  
ています。  
観客が引き込まれ  
る語り口で、「まく  
ら」から大いに笑わ  
せてもらいました。  
「みんなで笑うこと  
は、こんなに幸せな  
ことなんや」とつく  
づく思いました。  
後半は、目の病気  
である「加齢黄斑変  
性症」を自分でチェ  
ックできる方法を学  
んだほか、みんなで  
まゝるく輪になり、  
懐かしい歌を口ずさ  
みながら手の指を使  
った運動での機能訓  
練も。「しっかりと

感動するほどの話力  
まず、「まるで天  
文少年のよう！」と  
感動するほどの話力  
まず、「まるで天  
文少年のよう！」と  
感動するほどの話力  
まず、「まるで天  
文少年のよう！」と  
感動するほどの話力



廣楽亭 元笑

### ナルクの現勢

2019年3月現在

| 地域    | 活動拠点数 |
|-------|-------|
| 北海道地区 | 11か所  |
| 東北地区  | 5     |
| 関東地区  | 25    |
| 信州地区  | 6     |
| 北陸地区  | 2     |
| 中部地区  | 8     |
| 近畿地区  | 40    |
| 中国地区  | 7     |
| 四国地区  | 6     |
| 九州地区  | 3     |
| 合計    | 113   |

### 海外

|         |   |
|---------|---|
| ナルクUSA  | 1 |
| ナルクスイス  | 1 |
| ナルクUK   | 1 |
| ナルクオランダ | 1 |

住所電話は1面

題字下に記載

東京事務所〒105-0004

東京都港区新橋6-15-8

空調ビル3F

電話03-6435-6351



天文台長に案内し  
ていただきました。  
技術で、研究活動さ  
れている姿に感銘を  
受けた楽しい一日で  
した。  
お話し  
2月号「おらが拠点の  
熱いひと」のお名前は、  
正しくは北村憲正さんで  
した。お話しして訂正い  
たします。



### 団体 賛助会員

(敬称略)

- あいおいニッセイ同和損害保険・亀岡病院・関西電力労働組合・近畿労働金庫・公益社・CGCグループ
- ・全電通近畿社会福祉事業団・東北電力労働組合・東北発電工業労働組合・日新製鋼労働組合・パナソニック
- ・パナソニックグループ労働組合連合会・丸十服装・ユアテックユニオン・労働者福祉中央協議会
- ・四国電力生活協同組合・日通旅行・亀岡松花苑(みずの木)・ライフ薬局・(株)明倫社・ダイハツ労働組合
- ・ダイキン工業労働組合・デーサービスセンター(DSC)さくら